

『第2回日産財団理科教育賞』の候補に、今年は5校が選ばれました！

各候補校の成果報告書は、
日産財団のホームページからご覧いただけます

神奈川県 横浜市立三保小学校

『自然に親しみ、体験を通して持続可能な社会を構築するための基礎を学ぶ』

理科学習の始まりは、子どもが自然の事物・現象に関心や意欲をもってかかわることにより、自ら問題を見出し、学習活動の基盤を構築することである。子どもが自然の事物・現象に関心意欲を高めつつ、問題意識を醸成し意図的な活動を工夫することが大切である。

地域の自然に恵まれた本校において、その環境を利用した体験活動を学習に取り入れることで、子どもたちの科学的知識や環境問題への関心を高め、科学的な知識の深まりを期待できると考えている。



神奈川県 相模原市立麻溝小学校

『価値ある体験を生み出す、地域の自然を生かした環境学習』

本校の学区にある自然環境をより効果的に活用するためには、これまで行われてきた活動が児童にとって「価値ある体験※」であるかどうか見直す必要がある。



そして、「価値ある体験」を積み重ねていった児童は、地域が好きになり、将来にわたっても地域に関わっていこうとする気持ちを持つようになると考える。

- ※「価値ある体験」
- ①児童が楽しみ、主体的に関われる体験
 - ②新たな発見や驚きがある体験
 - ③将来に向けて夢や希望を感じられる体験

栃木県 上三川町立本郷北小学校

『環境に視点をおいた創造的なものづくり学習の実践』

環境にかかわる学習を中心にして、ものづくりにかかわる学習や生き方にかかわる学習と有機的な関連を図りながら学習を進めることで、「環境、ものづくりに関する基礎的な知識及び技能」「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力」「環境に働きかける実践力」を養い、持続可能な社会の構築を目指し、考え、行動する児童の育成を図る。



福岡県 福岡市小学校理科研究会

『自然を調べるよさを味わう生活科・理科学習』

年1回『福岡市小学校理科教育研究大会』を開催し、公開授業と、教材・教具を配布する実験講習会によって、参加者全員の授業力を具体的な形で向上させることをねらっている。

指導者である教師自身がものづくりをすることにより、理科の楽しさを体験できる点が他の研究大会とは異なっており、このような取組を行うことで、会員及び参加者が、「学力低下」や「理科離れ」の現状を改善し、理科好きの子どもを育成したいという強い意志をさらに高めていくことができると考える。



福岡県 福岡市立香椎東小学校

『学びあう喜びを実感する生活科・理科学習』

国語科で培った「話す」「聞く」技能をもとに、他教科でも自分の考えを伝えて学ぶ楽しさを感じるようになったが、まだ課題も多い。

そこで、対象と十分かかわる中で課題や問題を見つけ、観点を明確にしたうえでさらに対象と関わらせることで、自分の考えが明確になり友達との交流も明確なものになるだけでなく、課題や問題と解決したという実



感を十分味わうことができるようになるかと考える。

さらに、一連の学習を通して、友達とともに主体的に学ぶ喜びを感じ、確かな学力の向上につながるかと考える。

贈呈式での候補校による成果発表の後、大賞と理科教育賞が決定します

第2回日産財団理科教育賞贈呈式

日時：7月24日(木) 13:00～17:00

場所：日産グローバル本社 NISSANホール (神奈川県横浜市)

<主な内容>

- ・第2回日産財団理科教育賞の候補5校による成果発表会、各賞の受賞校決定と贈呈式
- ・2013年度理科教育助成校の学校名紹介と、各県代表者への贈呈書贈呈
- ・パネル討論会『グローバル化に備えて…社会と教育の連携』
(パネリスト：志賀俊之日産自動車副会長 他)

— 日産財団理科教育賞 —

子ども達の科学的思考能力や、教師の指導力を向上させる教育実践において、多大な成果をあげ、かつ成果の波及効果が期待できる実践に『日産財団理科教育賞』を授与します。

その中で、特に2年間の実践による「学びの質の向上」(伸び代)が大きいと判断された実践を『大賞』に認定します。

日産財団理科教育は、神奈川県、福岡県、栃木県から1校ずつが選出され、その中の1校が大賞に認定されます。
大賞：100万円
理科教育賞：50万円
(大賞は該当なしの年もあり)